

e-Learning センターも発足より 3 年目を迎え、研究開発運用部門長が初代の新村正明准教授より矢部正之教授に交代して新たなスタートを切ることになりました。今後も充実した支援やサービスを皆様にご提供できるよう、努めてまいります。

今号では、新研究開発運用部門長のご挨拶と eALPS に関する Q & A を掲載します。

contents

e-Learning center newsletter No.9

■ 新 研究開発運用部門長あいさつ	1
■ 利用者に近い目線で教育支援を	1
■ e-Learning センター組織概要	1
■ eALPS よくある Q & A	2

新 研究開発運用部門長あいさつ

利用者に近い目線で教育支援を

本年 4 月より、研究開発運用部門長を仰せつかっております矢部でございます。本籍は高等教育研究センターの併任ですが、できるだけ利用者である学生・教職員の皆様方のお役に立てるよう努力する所存ですので、よろしくをお願いいたします。

信州大学は、e-Learning をはじめとする ICT（情報通信技術）による教育支援に関して、国内では先進的な取組を行ってまいりました。多くのコンテンツ開発、教育機会の拡大に大きな効果を発揮した 2004 年度採択文部科学省現代 GP「信州大学発“学び”のビッグバンプロジェクト」や、ICT を利用して教育の質保証の効率的な実現を図る 2006 年度採択文部科学省現代 GP「自ら学び、学び続ける人材育成の基盤形成」などでその成果を学内外に示しております。また、更新された遠隔講義システム（新 SUNS）やこれらを基盤とした長野県内大学連携（高等教育コンソーシアム信州）などとも連関して、多様な発展を遂げてまいりました。

今や ICT を利用した教育支援システムは、本学の教育とその質保証に重要な役割を持つようになって来たと

いっても過言でないかと存じます。このようなシステムについて、私が担当させていただきます研究開発運用部門では、“eALPS”を中核とする ICT を利用した教育支援システムの安定運用に努めるとともに、これらシステムに求められる機能やそれによって得られる教育成果に関する調査研究を行い、必要な機能の開発を行っております。その中で、学生・教職員にとって利便性の高いシステムになるよう継続的に見直し、より良いサービスを提供していくことを目指しております。さらにシステム運用経費の節減と迅速な保守管理といった二律背反の課題およびセキュリティ管理や全学の情報システムとの連携についても適切な対応ができるよう努力しております。

教育に欠かせないシステムとなったこのシステムは、多くの利用者から、容易に使えて、教育成果を上げられるようになることを期待されてきております。それに応えるため、研究開発運用部門の担当である安定運用とシステム開発にとどまらず、ICT 活用支援部門はもとより学内の教育支援に関わる他部局・センター等とも協力して、利用者に近い目線で、より効果的かつ効率的な教育支援ができるよう、努力してまいりたいと存じます。利用者の方々のご意見を伺いながら、またその成果を共有しながら、充実したサービスを提供できるよう努力いたしますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

研究開発運用部門長

矢部 正之



新村先生、2 年間ありがとうございました。

e-Learning センター組織概要

e-Learning センターは赤羽貞幸センター長をトップに、研究開発運用部門と ICT 活用支援部門の 2 部門からなっています。研究開発運用部門は松本キャンパスの全学教育機構南棟 2F に本拠地を置き、皆様からの問い合わせへの対応、基盤システムの運用や開発にあたっています。長野（工学）キャンパスでもサポートスタッフが対応しています。ICT 活用支援部門では、東原義訓部門長のもと、ICT を活用した教育方法の提案、活用支援、教材開発などを行っています。主な拠点は長野（教育）キャンパスにありますが、全学をサポートしています。授業等での利用の様子から、eALPS は信州大学にとって、なくてはならない存在になりつつあることを実感し、皆様の支援をさせていただきながらその責任を強く感じるこの頃です。

eALPS よくある Q & A

e-Learning センターでは、eALPS をご利用の教員や学生の皆様から、お電話やメール、ホームページなどを通じて、毎日様々なお問い合わせをいただいています。特に新学期がスタートした直後には、コースや学生の登録、eALPS へのログインに関する質問が多く寄せられました。今回は、その中からぜひ皆様にお知らせしたいものをご紹介します。

eALPS にログインできない！

Q ACSU にログインしても「eALPS サイト一覧」のメニューが表示されず、eALPS にログインできません。

A 「eALPS サイト一覧」は、**業務用 ID (名前+数字 3 桁)** でログインしないと表示されませんので、この点をご確認ください。

Q 「eALPS サイト一覧」を選択すると、eALPS のログイン画面が表示されます。そこで ID とパスワードを入力しても eALPS にログインできません。

A 業務 ID 情報に登録されているメールアドレスが **総合情報センター発行のメールアドレス (〇〇〇 @shinshu-u.ac.jp)** でない場合にこのような現象が起こります。ACSU にログインし、「ACSU 連携サイト」の「業務 ID とメールアドレス登録」から変更を行ってください。メールアドレスがない場合には、各学部担当者に発行を依頼してください。

学生を登録・削除したい！

Q 必修課目等で、履修登録前に受講予定の学生を eALPS に登録しておきたい。

A 氏名と学籍番号の一覧を e-Learning センターまでお送りください。また予定者以外を登録させたくない場合には、その旨をご連絡ください。

Q コースから「ロールの割り当て」を使って学生を削除したが、翌日、また自動的に追加されてしまう。

A eALPS は、**毎日、履修登録情報を反映**させていますので、履修登録している学生を「ロールの割り当て」で削除しても翌日には再登録されてしまいます。学生の削除は、学生が履修登録を取り下げるか、「**履修登録の反映不要**」と e-Learning センターまでご連絡いただければ行えます。

一日に一回、履修登録の情報を eALPS に反映させていますが、お急ぎの場合は e-Learning センターにご連絡ください。

担当コースの管理

Q マイコースに担当するコースが表示されません。

A 「教師」として登録いたしますので、e-Learning センターまでご連絡ください。

Q 授業枠が変更になり、担当教員や曜日・時間などが変わりました。この変更を eALPS に反映させるにはどうすればよいですか？

A 各学部の学務課に申請した翌日、eALPS に反映されます。お急ぎの場合には e-Learning センターで修正しますので、ご連絡ください。

Q 単位を必要としない学生もコースを利用したい。

TA の学生にコースを利用させたい。

A e-Learning センターにご連絡いただければ、「単位を必要としない学生」として登録します。資料をアップするなど編集作業を行う TA は「**評定権限のない教師 (CP)**」として登録します。編集作業は行わず、課題などの評価をさせたい場合は「**編集権限のない教師 (TA)**」として登録します。

Q 過年度の授業コースを本年度や来年度も閲覧することはできますか？

A 教員の方は、過去 2 カ年度の授業コースを閲覧することができます。「eALPS サイト一覧」に年度のタブがありますのでそれを選択してください。

Q 他のコースで作成した内容をコピーして使用することは可能ですか？

A 「管理」ブロックの「バックアップ」と「リストア」で他のコースへコピーできます。e-Learning センターにご連絡いただければ詳しい手順をご説明いたします。また作業を代行することも可能です。

Q 複数の授業のコースで同じ事をしたいのですが、同じ作業を繰り返さなければならないのでしょうか？

A 複数のコースをひとつにまとめたい場合には、いろいろな方法がありますので、e-Learning センターまでご相談ください。